

講義①「押さえておきたい母子感染の基礎知識～小児科医の立場から～」

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

教授 森内 浩幸



平成28年度 母子保健指導者養成研修事業
母子感染の予防と対策についての研修

押さえておきたい母子感染の基礎知識 ～小児科医の立場から～



長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・小児科
森内 浩幸

産科医療の現場では

全ての妊婦を対象に「啓発」

一部の妊婦感染例(例:梅毒、トキソプラズマ)について「治療」

小児医療の現場では

妊婦感染疑い例について「精密検査」

少数の母子感染例の「ケア」

小児医療の現場では



遅発性発症児
の診断とケア

妊婦への啓発も
小児医療現場で



ありきたりの「難聴」「
発達遅滞」「脳性麻痺」「てんかん」「自閉症」
の中に潜んでいます。

同胞は母親(妊婦)
の感染源として重要
(例:CMV、パルボウイルスB19)。

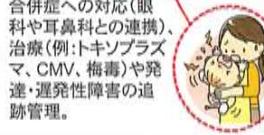
新生児スクリーニング
(universal or targeted)

Universalに行うことが出来
ない場合でも、新生児聴覚
スクリーニングreferr児などの
ハイリスク児に対して。

受身に回ると「感染児」
のみ(ただし広範
に渡り、長期に及ぶ。)



合併症への対応(眼
科や耳鼻科との連携)、
治療(例:トキソプラズマ、
CMV、梅毒)や発
達・遅発性障害の追
跡管理。



母子健康手帳

佐賀市



検査の記録

- 子宮頸がん検診
- 梅毒血清反応
- HBs抗原
- HCV抗体
- HIV抗体
- 風しんウイルス抗体
- HTLV-1抗体
- クラミジア抗原
- B群溶血性連鎖球菌

近い将来、このリストに

- トキソプラズマ抗体
- サイトメガロウイルス抗体

が加わるかも?

妊婦さんに

- ・レントゲン写真
- ・ある種の薬物
- ・タバコ
- ・アルコール

を避けるよう指導しない

産科医・小児科医・保健師・助産師・
看護師ってていますか?



では、妊婦さんに
「母子感染」予防の指導をしている産科医・
小児科医・保健師・助産師・看護師は
どうくらいいますか?
どうすれば予防できるのか、ご存知ですか?

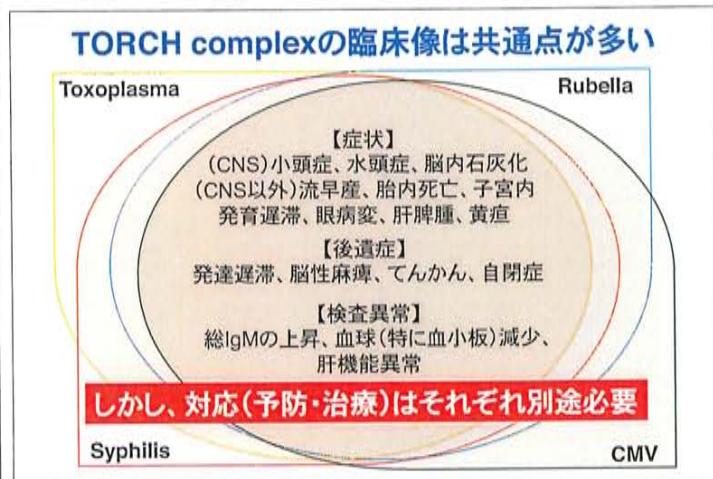
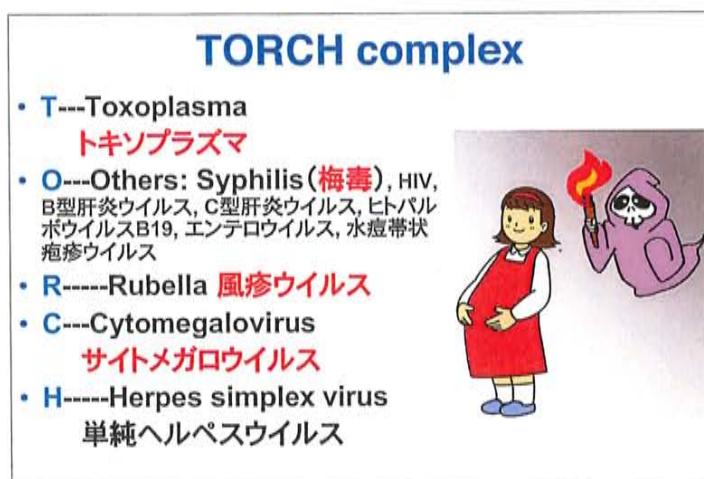
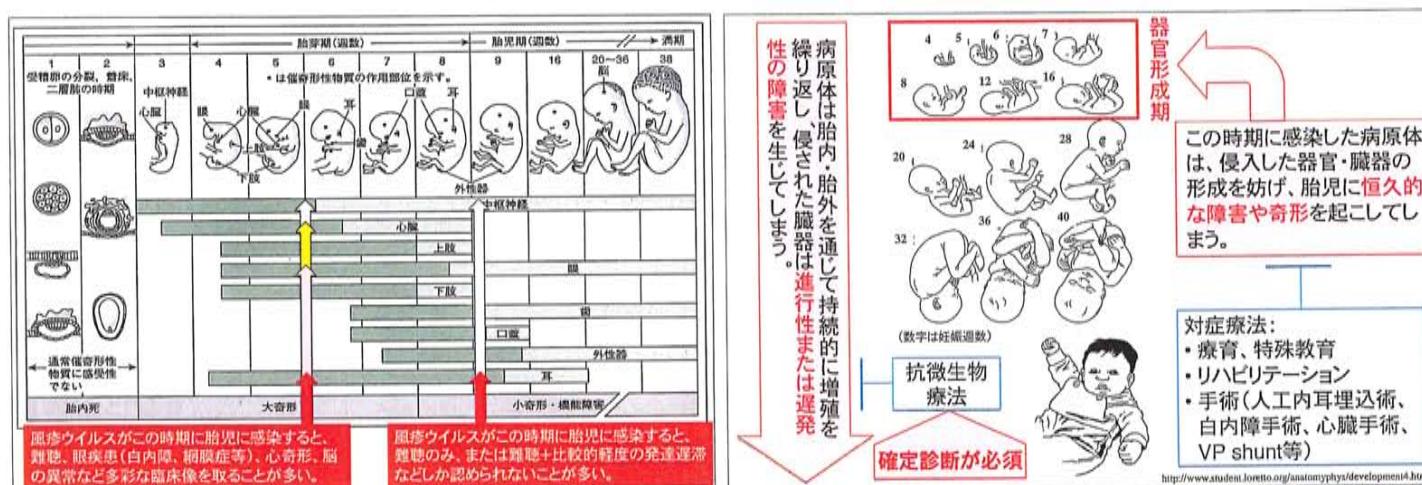
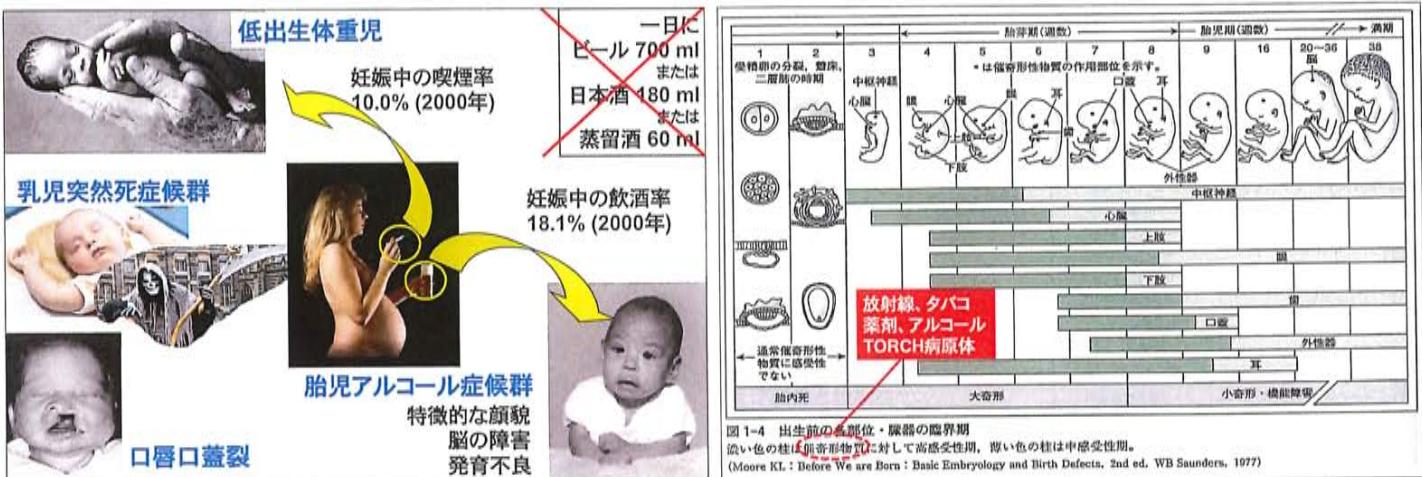


サリドマイド



1957年に西ドイツで開発販売された催眠鎮静薬。
即効性があり目覚めがよく、動物実験では安全性
も高かったため、世界各国で販売された。妊婦のつ
わりにも良く効いたために、妊娠初期に服用するこ
とも増えた。すると死産や重症の先天性四肢欠損
症が生じることがわかった。日本でも大日本製薬株
式会社が独自の製法で合成販売(商品名:イソミ
ン)し、催奇形が世界的な社会問題となった後も
製品回収徹底を2年間怠り、死産を除いて確認され
ただけでも309名の被害者がいた。





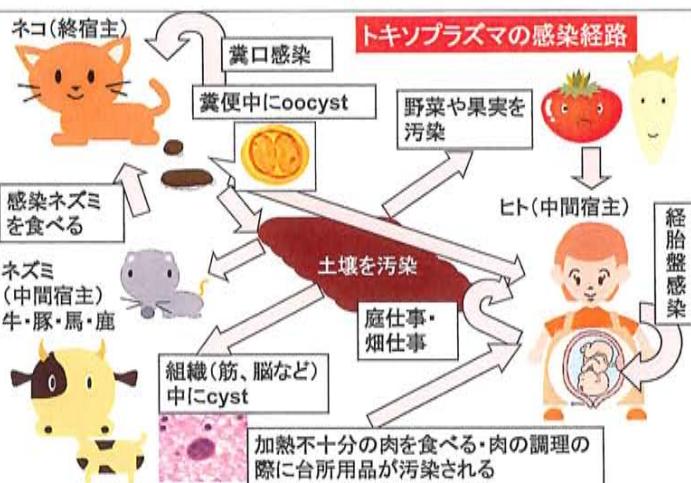
TORCHの実態と対策

	予防・治療対策	報告*(推定**)数
T: 先天性トキソプラズマ症	妊娠中の生活上の注意; 感染妊婦・乳児への抗原虫薬投与	5~6例/年 (100~300)
Others: 先天梅毒	妊娠スクリーニング→活動性感染妊婦へのペニシリン投与→治療対象新生児の選別→PC投与	8~9例/年 [全数届出疾患 増加傾向!]
R: 先天性風疹症候群	MRワクチン2回接種(1歳時、就学前); 妊婦抗体検査	1~2例/年 [全数届出疾患]
C: 先天性CMV感染症	妊娠中の生活上の注意; 罹患児へのガムシクロビル投与	~50例/年 (~1000)
H: 新生児ヘルペス	性器ヘルペス妊婦へのアシクロビル投与と選択的帝王切開術; 罹患児へのアシクロビル	12~13例/年

*日本小児感染症学会による全国調査(2006-2008年の症例)に基づく。
**推測数(Tでは年齢別抗体保有率から、Cは前方視的調査から推測した)。

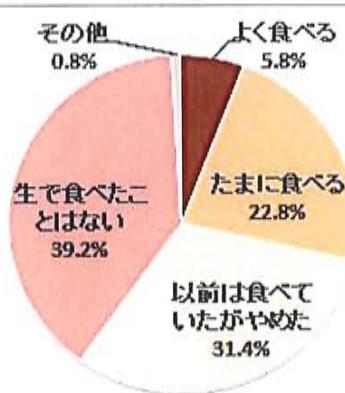
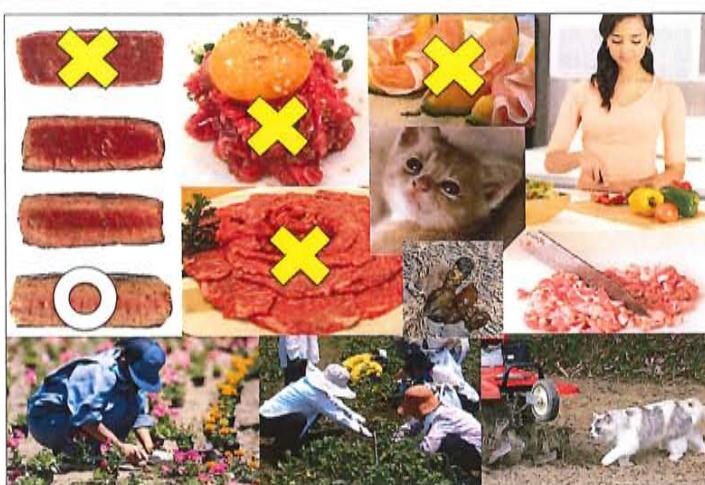


is for Toxoplasma

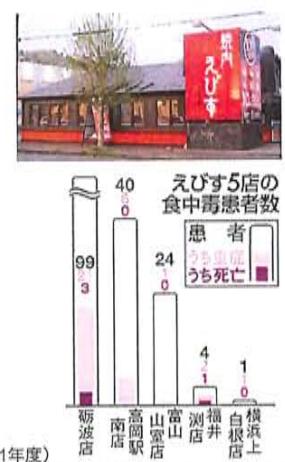


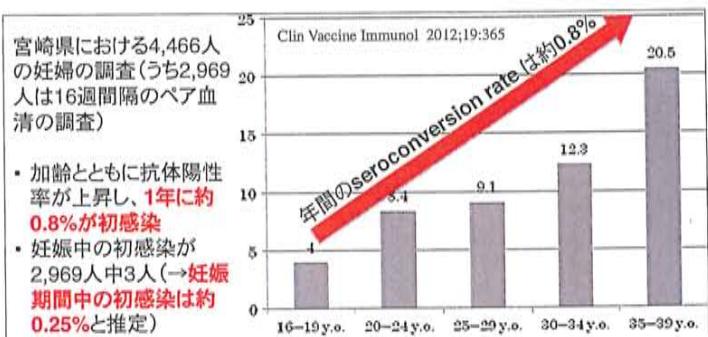
トキソプラズマ感受性妊婦(本邦では9割以上)の生活上の注意点

- ネコの糞便は自分で扱わない(自分で扱わざるを得ない場合は必ず手袋をつけ、後で手洗いを十分行う)
- ネコの糞便は必ず毎日捨てる
- 飼いネコは屋内で飼う、野良ネコには接触しない
- 妊娠中に新たにネコを飼わない
- 食肉は十分加熱する
- 野菜や果実は食べる前によく洗う
- 食肉、野菜、果実に触れた後は温水で十分に手洗いする
- 生水は飲まない
- 庭仕事や畑仕事や砂場遊びをする際には手袋を着用する



「食肉を生で吃ることはあるか」に対する回答。
対象は20歳以上の都民1000人。
(参考: 東京都の食肉の生食等に関する実態調査・2011年度)





症例	年齢	妊娠初期		妊娠後期		生肉摂取歴	飼いネコ	南九州在住
		妊娠週数	LA値	妊娠週数	LA値			
1	25	16	<1:16	31	1:128	+	-	+
2	36	16	<1:16	32	1:32	+	-	+
3	22	19	<1:16	32	1:64	+	+	+

推定数と報告数の大きなギャップ

- 年間の抗体陽転率が 0.3-0.8%、年間出生数が100万人だと、以下のように推定される

妊娠中の初感染率は 約0.25-0.6%(2千-6千人/年)

胎児感染は 0.125-0.4% (1,250 – 3,000人/年)

顕性胎児感染は 0.0125-0.03% (125-300人/年)

遅発性障害まで含めると、もっともっと(?)人/年)

↓ ↑

先天性トキソプラズマ症児の報告は

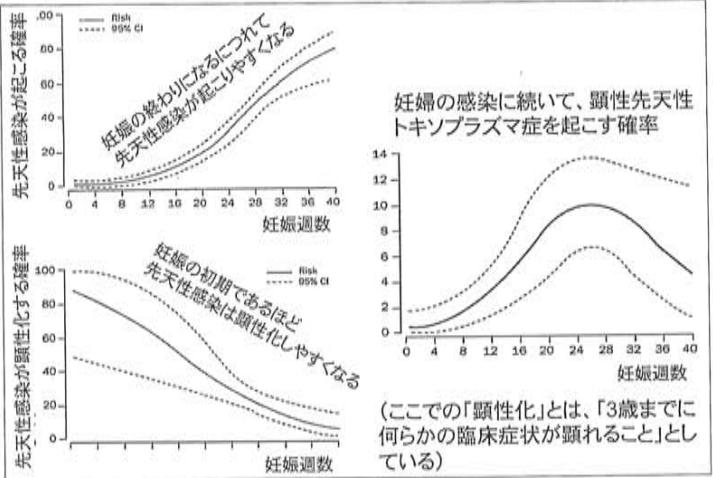
- ・日本小児感染症学会の全国調査では**5人/年**
 - ・医学中央雑誌で検索できた症例報告では**3人/年**

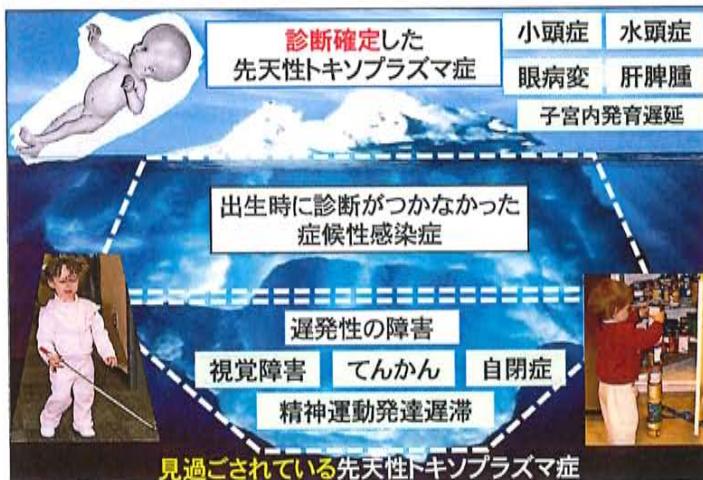
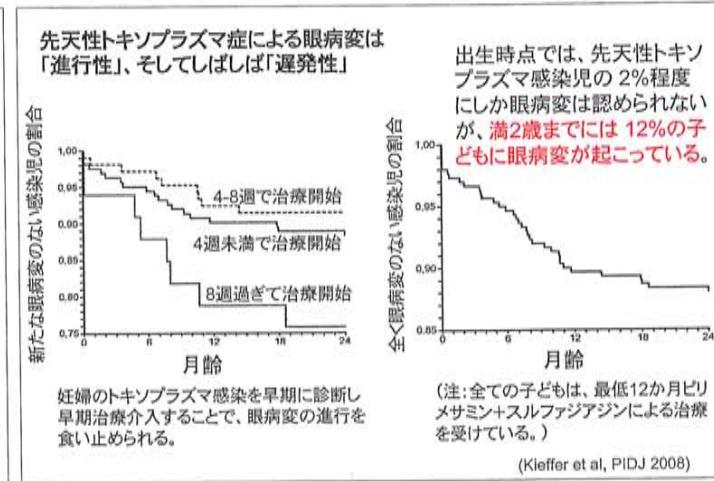
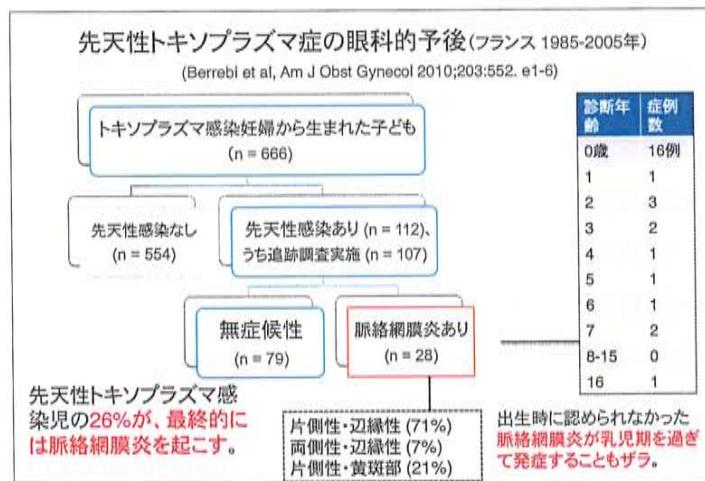
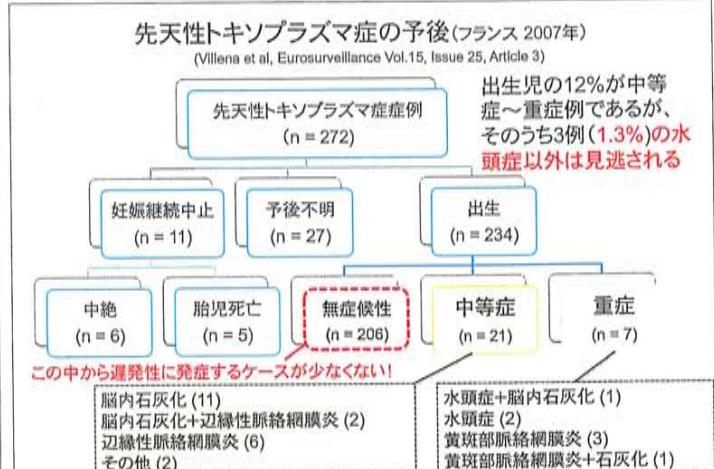
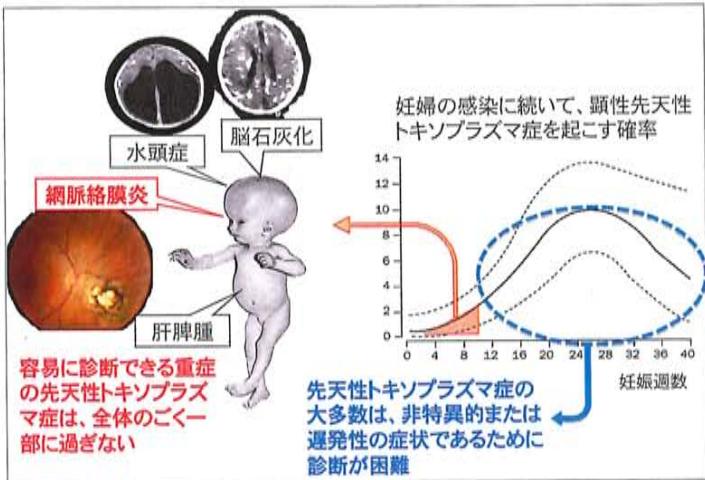
長崎ではトキソプラズマ感染者が少ない！

	Category	IgM			IgG		
		n	positive(n)	prevalence (%) (95%CI)	n	positive(n)	prevalence (%) (95%CI)
年齢	<20	53	0	0	53	0	0
	20≤ <25	315	0	0	315	2	0.6 (0.2-2.3)
	25≤ <30	849	11	1.3 (0.7-2.3)	849	16	1.9 (1.2-3.0)
	30≤ <35	983	10	1.0 (0.6-1.9)	983	16	1.6 (1.0-2.6)
	35≤ <40	540	6	1.1 (0.5-2.4)	540	16	2.9 (1.8-4.8)
	40≤	116	3	2.6 (0.9-7.3)	116	3	2.6 (0.9-7.3)

長崎ではトキ

Category	この半数近くは熊本・宮崎・鹿児島出身者					
	(70/1,927人)			(35/761人)		
年齢	<20	20≤ <25	25≤ <30	30≤ <35	35≤ <40	40≤
	53	0	0	53	0	0
	315	0	315	2	0.6 (0.2-2.3)	
	849	11	849	16	1.9 (1.2-3.0)	
	983	10	983	16	1.6 (1.0-2.6)	
	540			16	2.9 (1.8-4.8)	
	116	3	2.6 (0.9-7.3)	116	3	2.6 (0.9-7.3)





なぜ先天性トキソplaズマ症は見逃されるのか?

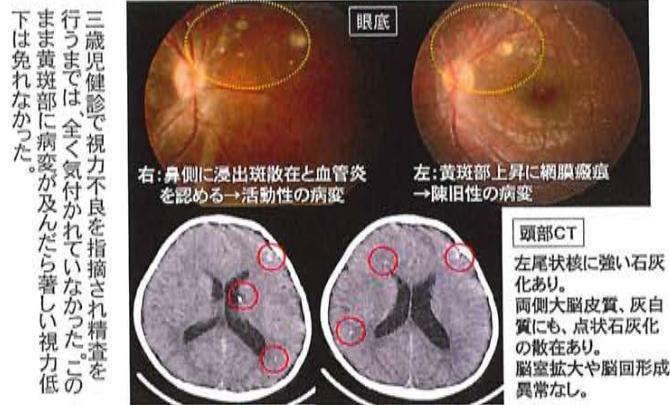
出生前診断(胎児エコー所見)や出生時診察で明らかにわかる重症例はごく一部(1-2%)

- 元々はこのような症例のみを以て「先天性トキソplaズマ症の実態」と捉えていた。
- この場合でも、Toxoplasma IgM陰性例では診断が漏れる。(本邦ではToxoplasma IgAやPCR検査は実施できないし、これらの検査でも偽陰性が見られる。)

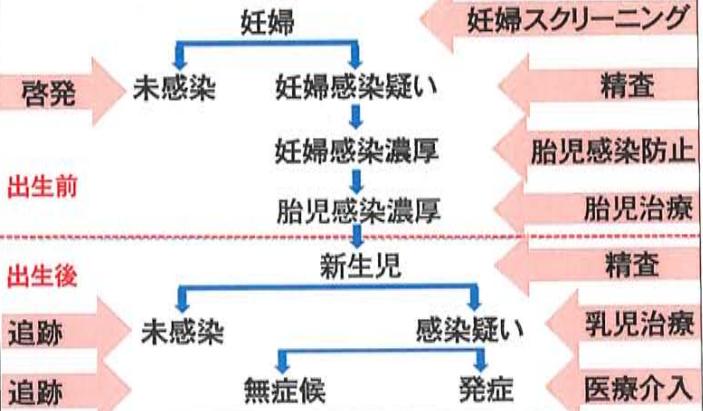
臨床的に明らかではなかった感染児の中から、少なからぬ数の遅発症例が出る。

- 遅発性・進行性の性質がある(脈絡網膜炎)。
- 元々あつたけれど、検査しない限り見つからない(眼底所見、脳内石灰化など)。
- 発達を追っていかないとわからない(発達遅滞、自閉症)。
- 傍からみてわかるまで時間がかかる(視力障害)。
- 出生後時間が経つと、先天性感染の診断が非常に困難。

非流行地の長崎にも、先天性トキソプラズマ症のお子さんは潜んでいました！

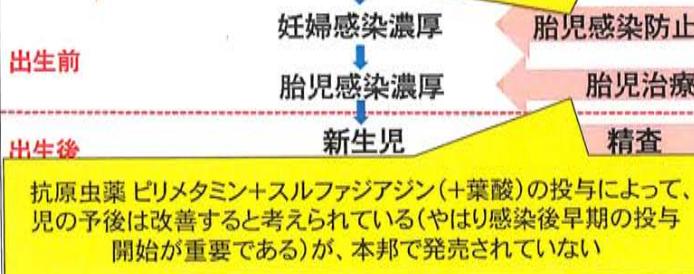


トキソプラズマ母子感染対策

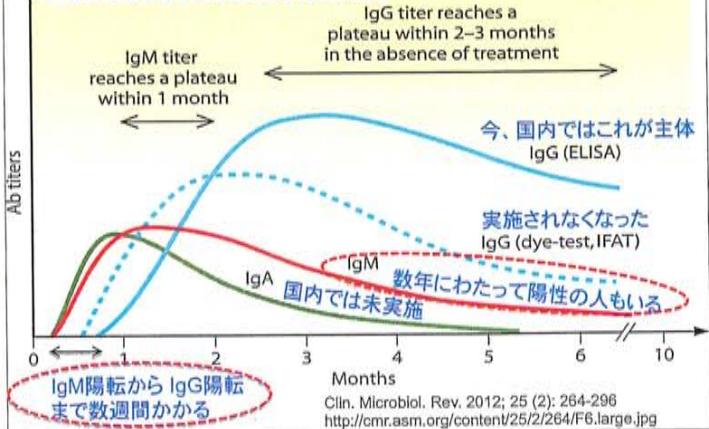


トキソプラズマ母子感染対策

スピラマイシン(本邦ではアセチルスピラマイシン)の投与によって、胎児感染を60%以上減らすことができると考えられている(妊婦の感染が判明した後、少しでも早く投与開始することが重要)

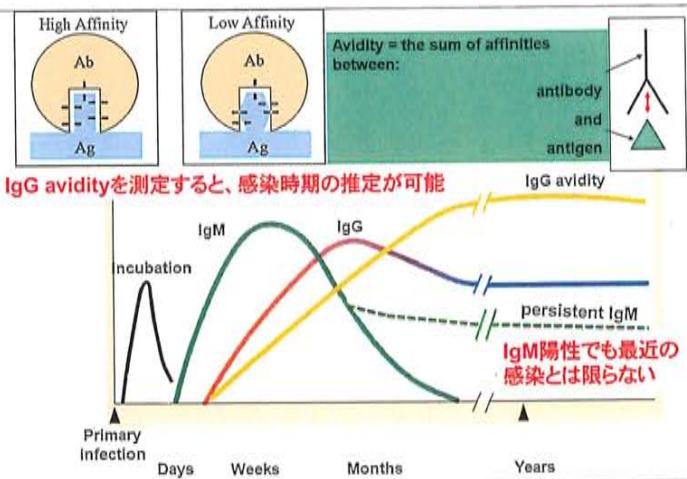


トキソプラズマに対する抗体応答

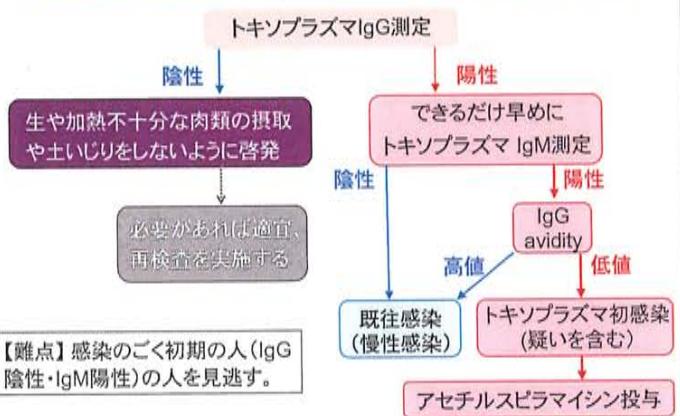


トキソプラズマ抗体検査の問題点

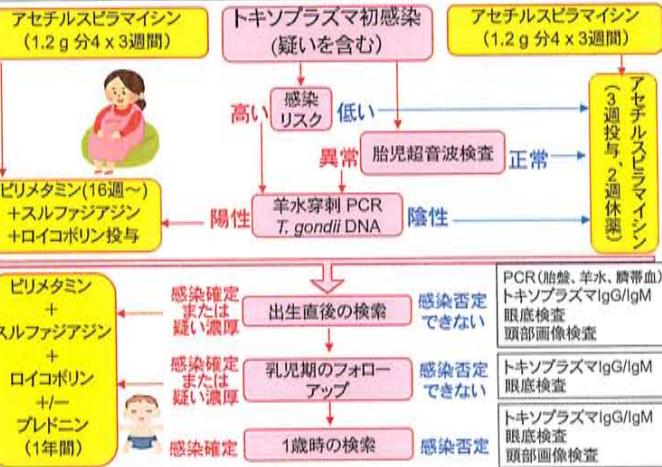
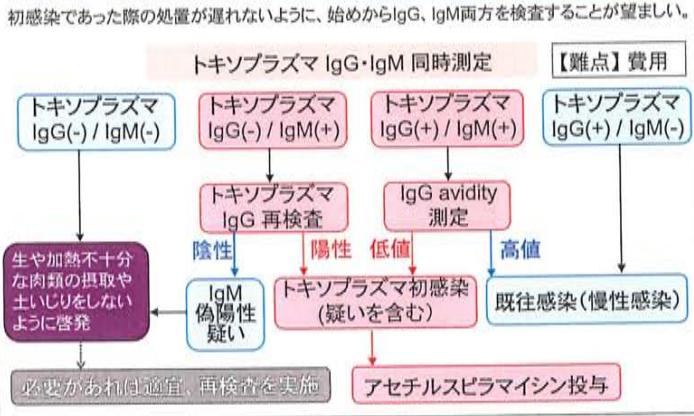
- IgMには偽陽性が多い。そのため IgG陰性・IgM陽性の人の殆どは、実は未感染。
- しかしその一方で、IgM陽転からIgG陽転まで数週間かかるため、一部(ある研究では約5%)は初感染直後の状態を示している。
- IgMが長期間陽性のままの人がある。そのため、IgG陽性・IgM陽性の人の多くは、実は今回の妊娠より以前の感染。
- 従って、IgGとIgMの検査だけでは、感染時期の推定は困難!!



およそ妊娠10週目までに抗体検査を実施する場合のフローチャート



およそ妊娠10週目を超えてから抗体検査を実施する場合のフローチャート



産婦人科診療ガイドラインー産科編 2011(日本産婦人学会)
CQ604. 妊娠中にトキソplaズマ抗体陽性が判明した場合は?

Answer

- 特異的IgG, IgM抗体検査を行い感染時期の推定を行う。(B)
- IgM抗体陽性が長期間持続することがあるので、IgM抗体陽性は必ずしも過去数か月以内の感染を意味しない。従って、IgM抗体陽性妊娠への対応は慎重に行う。(B) ^{注1}
- 妊娠成立後の感染と考えられる場合には、アセチルスピラマイシンの投与を行う。(B) ^{注2}
- 胎児感染が強く疑われる場合は妊娠16-27週の間、ビリメタミンとスルファジアジン投与を考慮する。(C) ^{注3}

注1. IgG avidity検査が感染時期推定に有用だが、現時点では研究用検査(自費検査)の扱い。

注2. アセチルスピラマイシンは保険適用外。

注3. ビリメタミンとスルファジアジンは本邦では入手困難(厚労科研費熱帯病研究班から一か月分のみ入手できるかも知れないが、その後は個人輸入)。

先天性トキソplaズマ症対策の問題点

- 妊婦: (厚労科研→) AMED・藤井班で対応中
- 感染予防の啓発: 母子手帳への記載もなく、殆ど手付かず。
 - 妊娠初期のスクリーニング検査: ルチーン化されていない。
 - 確認検査(IgG avidity): 検査方法が未確定。保険適用外。
 - 胎児診断: 羊水PCRは保険適用外。実施できる施設は僅か。
 - 胎児感染予防: アセチルスピラマイシンは保険適用外。
 - 胎児治療: ビリメタミンとスルファジアジンは国内未承認。

児:

- 見逃し: 重症例以外は出生時に臨床診断できない。
- 診断: IgMもPCRも感度は不十分。IgG持続陽性の確認。
- 治療: ビリメタミンとスルファジアジンは国内未承認。
- 遅発性発症: 無治療だと、半数近い例が眼病変を起こす。



Toxoplasma は 脳を蝕む?!

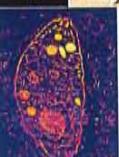
交通事故を起こすリスク

T. gondii IgG陰性と比べた odds ratio
 IgG 8-16x 1.86 (1.14 ~ 3.03)
 IgG 32-64x 4.78 (2.39 ~ 9.59)
 IgG 64x< 16.03 (1.89 ~ 135.66)



T. gondii IgG保有率

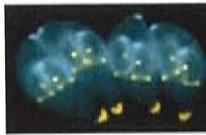
コントロール 8.9%
 精神科入院患者 18.2% ($p = 0.02$)
 総合失調症患者 26.3% ($p = 0.005$)



Toxoplasma は 男女を変える?!

男は、...

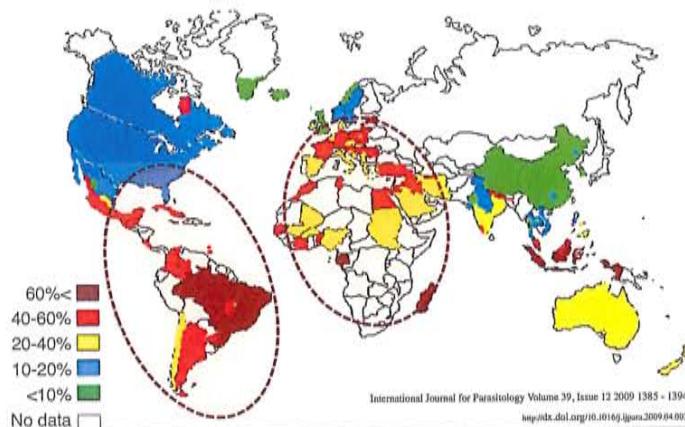
IQが低くなり、
 教育レベルが落ち、
 注意力に欠け、
 規則を破りやすく、
 危険を冒しやすく、
 より個人主義に、
 反社会的に、
 懐疑的に、
 嫉妬深く、
 気難しく、そして
 女にモテなくなる。



女は、...

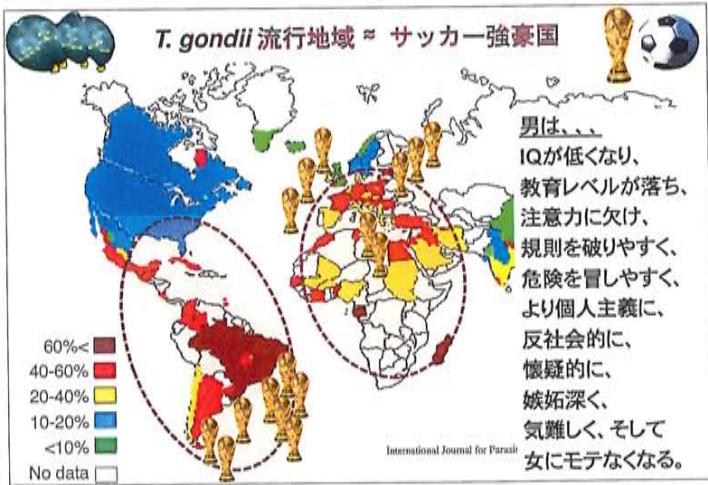
外交的に、
 親しみやすく、
 浮気っぽく、
 そして
 セクシーになる。

Global status of *Toxoplasma gondii* seroprevalence



International Journal for Parasitology Volume 39, Issue 12 2009 1385 - 1394
<http://dx.doi.org/10.1016/j.ijpara.2009.04.001>

T. gondii 流行地域 ≈ サッカー強豪国



男は...
 IQが低くなり、
 教育レベルが落ち、
 注意力に欠け、
 規則を破りやすく、
 危険を冒しやすく、
 より個人主義に、
 反社会的に、
 懐疑的に、
 嫉妬深く、
 気難しく、そして
 女にモテなくなる。

International Journal for Parasitology Volume 39, Issue 12 2009 1385 - 1394
<http://dx.doi.org/10.1016/j.ijpara.2009.04.001>

偶然か、 科学的 真実か?!



そして...
 自動車事故の多いお
 国柄で、
 女性はセクシー!!

謎の原虫、Toxoplasma?!

フランスは...

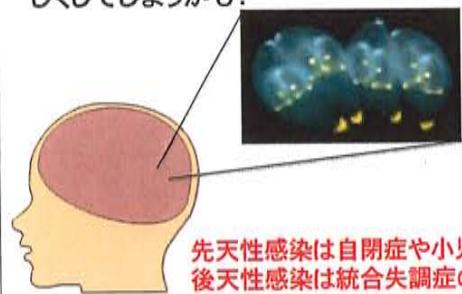
世界でも最も
 Toxoplasma感染の
 多い国の一つ。

おそらく、レアのステー
 キと子ネコが大好きだ
 から...?



健康な人が感染した場合でも、トキソプラズマ原虫は
 脳内に侵入して、そこに潜伏する。

↓
 もしかしたら、時として私達の脳をいじくり回しておか
 しくしてしまうかも?



先天性感染は自閉症や小児精神病の一因?
 後天性感染は統合失調症の一因?

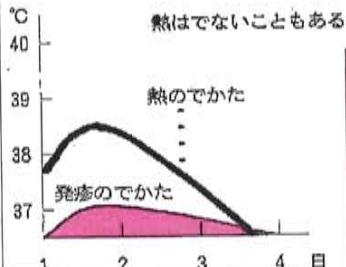


is for Rubella



風疹 rubella

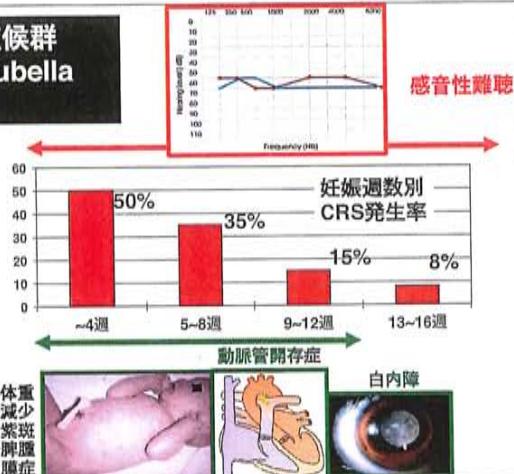
- ・飛沫感染。
- ・不顕性感染は25~30%で、発症しても症状は比較的軽い(臨床診断や既往歴が当てにならない)。
- ・潜伏期は14~21日間。
- ・妊婦の初感染が先天性風疹症候群をおこす恐れあり。



先天性風疹症候群 congenital rubella syndrome



低出生体重
血小板減少
紫斑
肝脾腫
網膜症



風疹の歴史

1740年 最初の臨床的な記載がなされた(Friedrich Hoffmann)。

1914年 この病気がウイルスによって起こることが推測された(Alfred Hess)。後、1962年にウイルスが分離された(Thomas Weller)。

1941年 オーストラリアの眼科医Norman Greggは、妊娠中に風疹にかかると生まれてくる子どもに白内障やその他の障害が多く発生することを発見した。(妊娠中に胎児が病原体などに曝露されることで奇形を生じ障害を残すという概念は、医学史上初めての画期的なものであった!)

1962-65年 欧州と北米で風疹が大流行した。1964-65年の米国の大流行では、1250万人の風疹患者が発生し、1万1千件の流産・墮胎、そして2万人の先天性風疹症候群の子どもが生まれた(うち、2100人は新生児期死亡、1万2千人は聴覚障害者、3580人は盲目、そして1800人が精神発達遅滞)。NYでは全出生の1%が先天性風疹症候群の子どもだった。

1965年 沖縄(当時はアメリカ領)で風疹が大流行し、400人以上の先天性風疹症候群が発生した(全出生の約2%に相当)。

1969年 風疹ワクチンが開発された。



Agatha Christie
(1890-1976)
ミステリーの女王



「クリスタル殺人事件」
(Mirror Crack'd 1980年・英)
ミス・マーブル(アンジェラ・ランズベリー)
マリナ(エリザベス・テイラー)

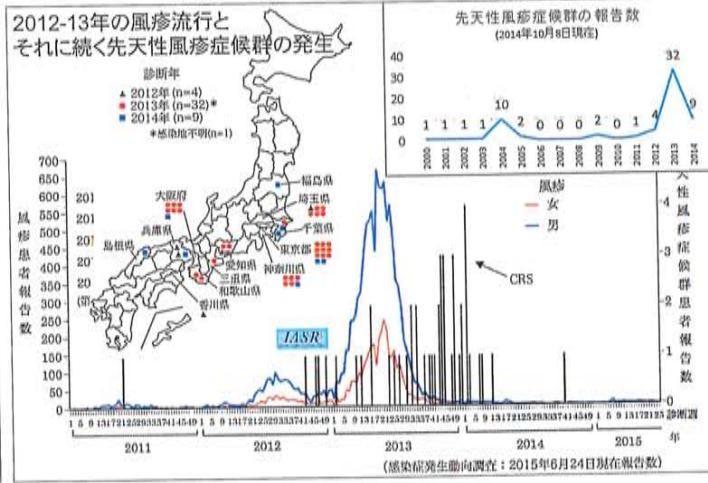
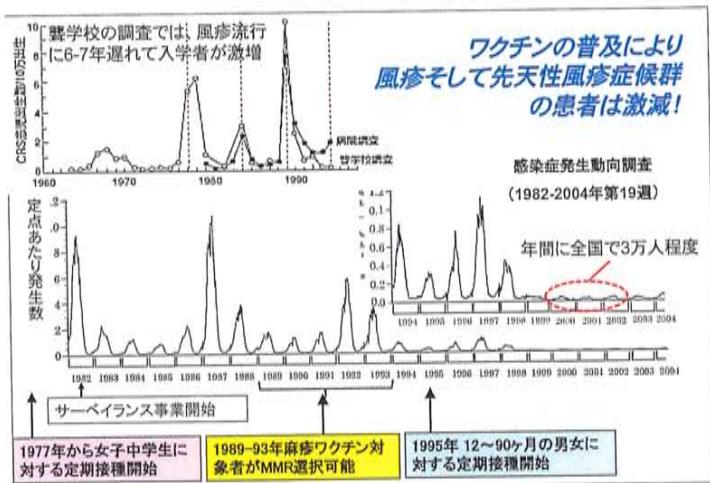
「遙かなる甲子園 -
聴こえぬ球音に賭けた16人」



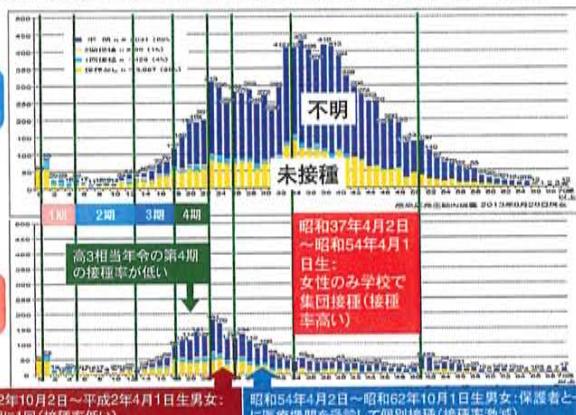
まだパスポートがないと渡航できなかった1965年当時の沖縄で風疹が大流行し、400人(全出生児の50人に1人!)を超える先天性風疹症候群児が誕生した。

この子達の殆どが難聴児であったため、この子達が卒業するまでの6年間限定で北城聾学校(中等部・高等部)が開校された。

ここに誕生した野球部の球児達が、難聴だけではなく先天性風疹症候群がもたらした体力的ハンディキャップを抱えながらも甲子園の県予選に出場を果たすまでの感動的なドラマは、戸部良也により出版(双葉社、1987年)され、映画化(1990年、三浦友和ら出演)やマンガ化(山本おさむ)もされている。



男女別年齢別予防接種歴別風疹患者報告数(2013年第1~34週)



男性
(n=10,833)

女性
(n=3,213)

昭和62年10月2日～平成2年4月1日生男女：
幼児期に1回(接種率低い)

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生：

女性のみ学校で
集団接種(接種率高い)

昭和54年4月2日～昭和62年10月1日生男女：保護者と一緒に
医療機関を受診して個別接種(接種率激減)

風疹ワクチンの定期接種状況(1977年～)

(2015年4月2日現在の年齢)

MRワクチン4期の接種率が低かった
→個別接種に変更後接種率が下がった



※原則、MR混合ワクチン接種

※幼児期にMMRワクチン接種の場合あり

※MMR混合ワクチン：麻疹風疹混合ワクチン

27歳6ヶ月 (1987年10月1日生)

36歳 (1979年4月2日生)

53歳 (1962年4月2日生)

60歳

小児科医は家庭医として、子どもだけではなく、両親の予防接種についてもきちんと啓発を行う！



妊婦さんと赤ちゃんを
守るために成人男性も
風しんの予防接種を
受けましょう



先天性風疹症候群報告症例、2000～2011年

診断年	都道府県	感染地域*	性	母親のワクチン接種歴**	母親の妊娠中の風疹罹歴**
2000	大阪	国内	女	なし	なし
2001	宮崎	国内	女	不明	不明
2002	岡山	国内	男	不明	あり
2003	広島	国内	女	なし	あり
2004					
2004					
2004					
2004					
2004					
2004					
2004					
2004					
2004					
2004					
2005	長野	国内	女	不明	あり
2005	大阪	インド			あり
2005	愛知	国内			あり
2009	長野	フィリピン			あり
2009	愛知	愛知			あり
2011	群馬	ベトナム			あり

この時の流行を受けて、「風疹流行にともなう母児感染の予防対策構築に関する研究(班長:平原史樹教授)」班から、「風疹流行および先天性風疹症候群の発生抑制に関する緊急提言」が取りまとめられ2004年9月9日に発表された。

しかし、この時の教訓は生かされていなかった！

昨今の風疹はアジアからの輸入例が中心

あり
あり
あり
あり
あり
あり

なし
なし
なし
なし
なし
なし

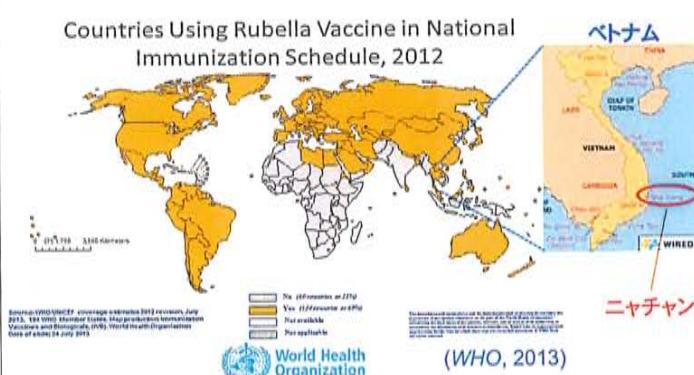
*2006年4月以降は都道府県等詳細地域も届出事項

**報告後の問い合わせによる追加情報を含む

(感染症発生動向調査:2011年8月17日現在報告数)

風疹ワクチンを定期接種に導入している国(2012年)

Countries Using Rubella Vaccine in National Immunization Schedule, 2012



(WHO, 2013)

★ 風疹ワクチンはベトナムでまだ定期接種に加えられていない！

- 風疹特異的IgG陽性率は71% (95%CI: 69-73%)
⇒およそ30%の妊婦は風疹に感受性がある

・年間抗体陽転率: 1.4%

⇒妊娠第1三半期に風疹に罹患する可能性が0.3%ある。



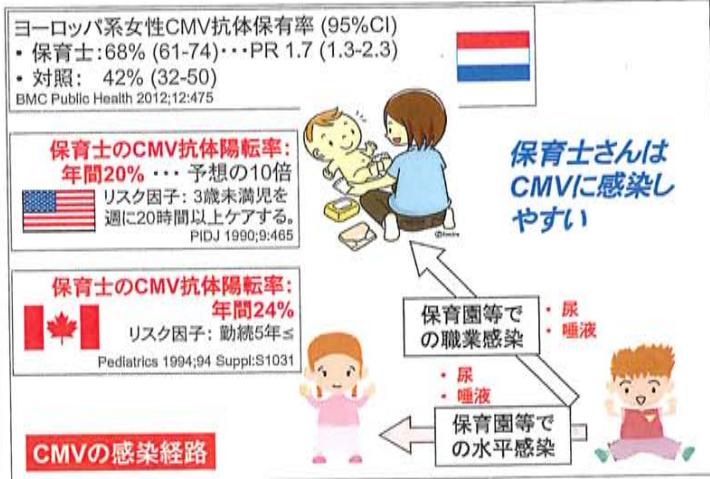
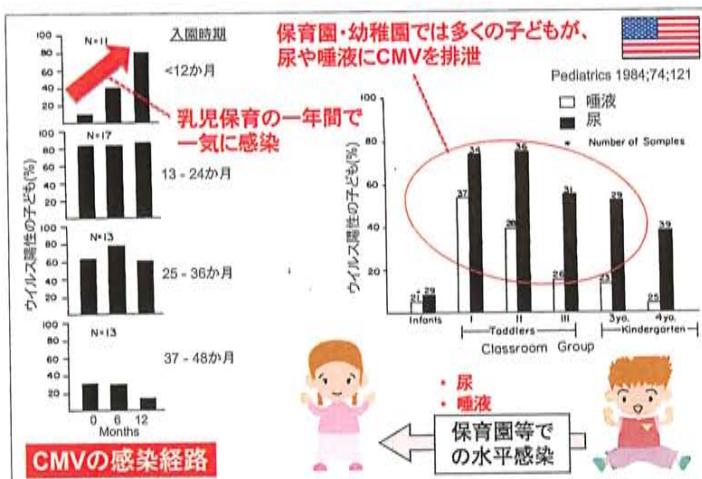
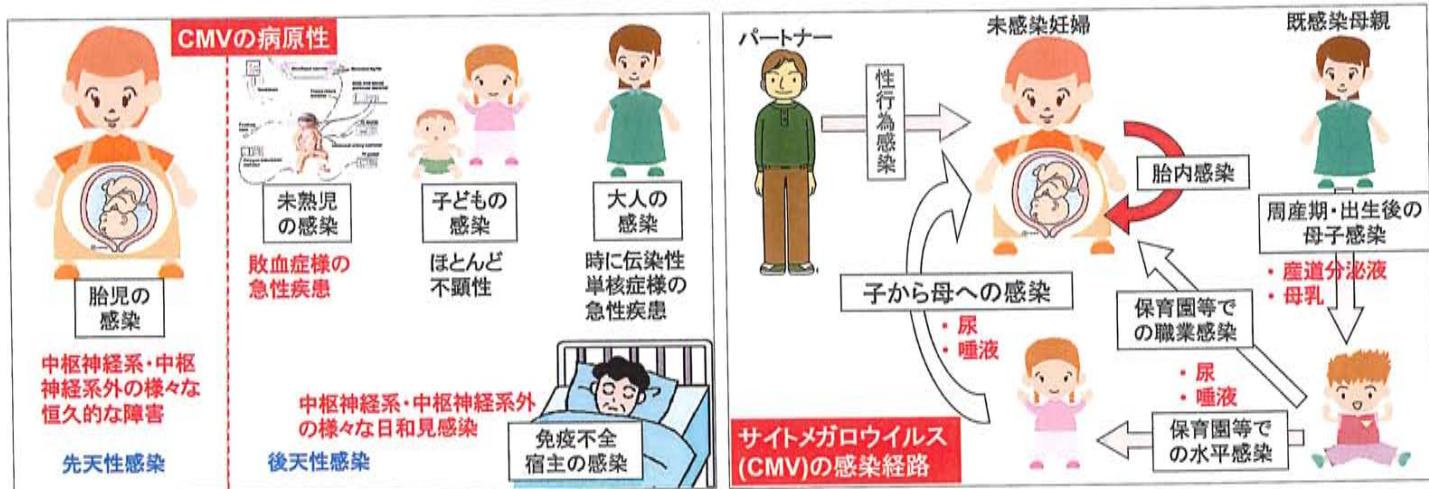
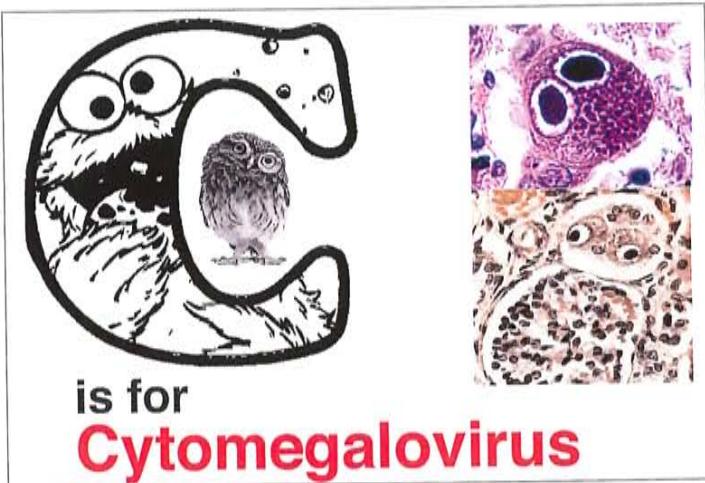
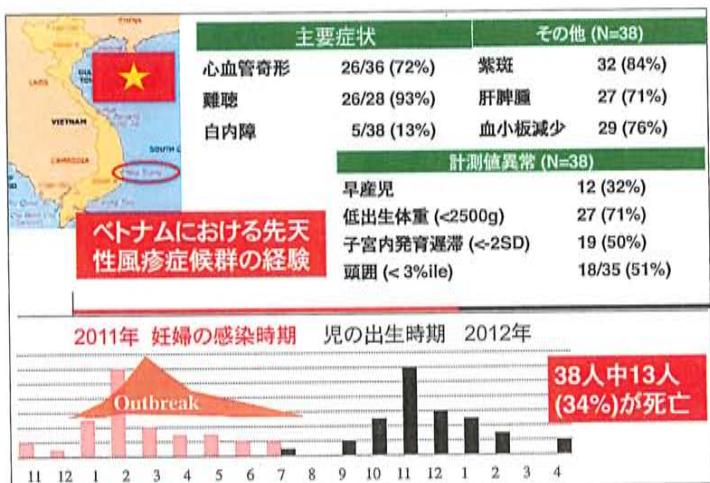
・風疹特異的IgMが臍帶血の3検体で陽性(0.15%)

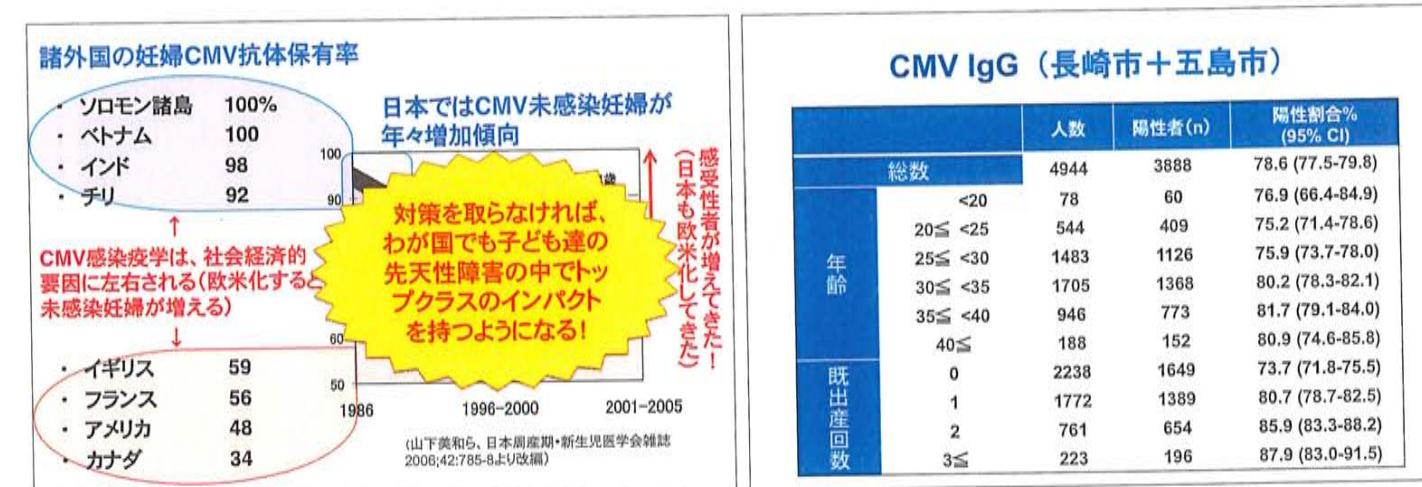
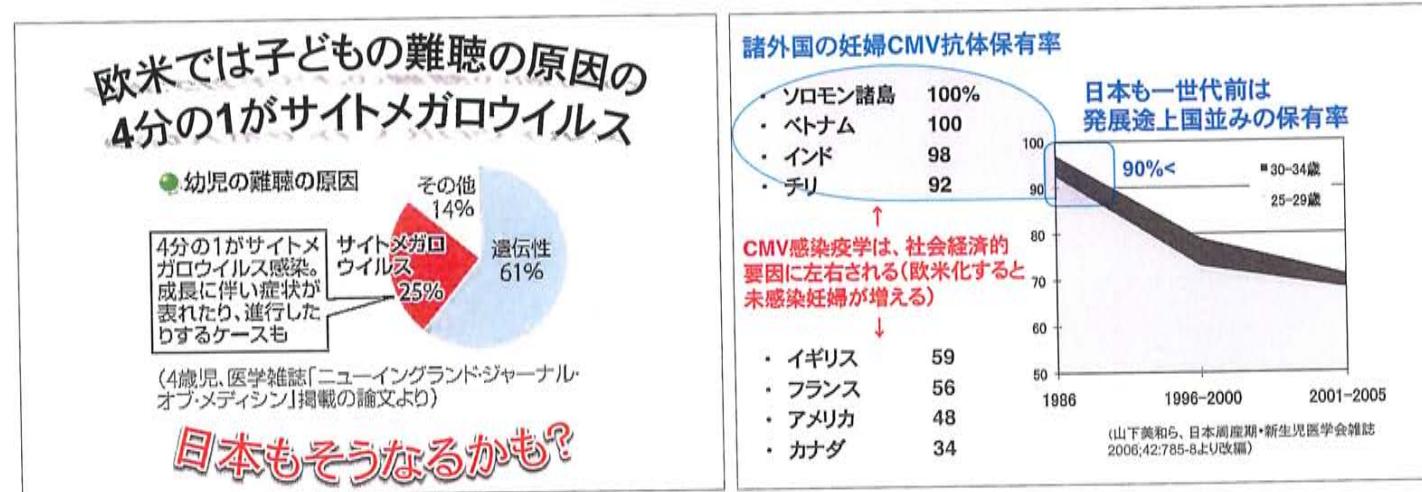
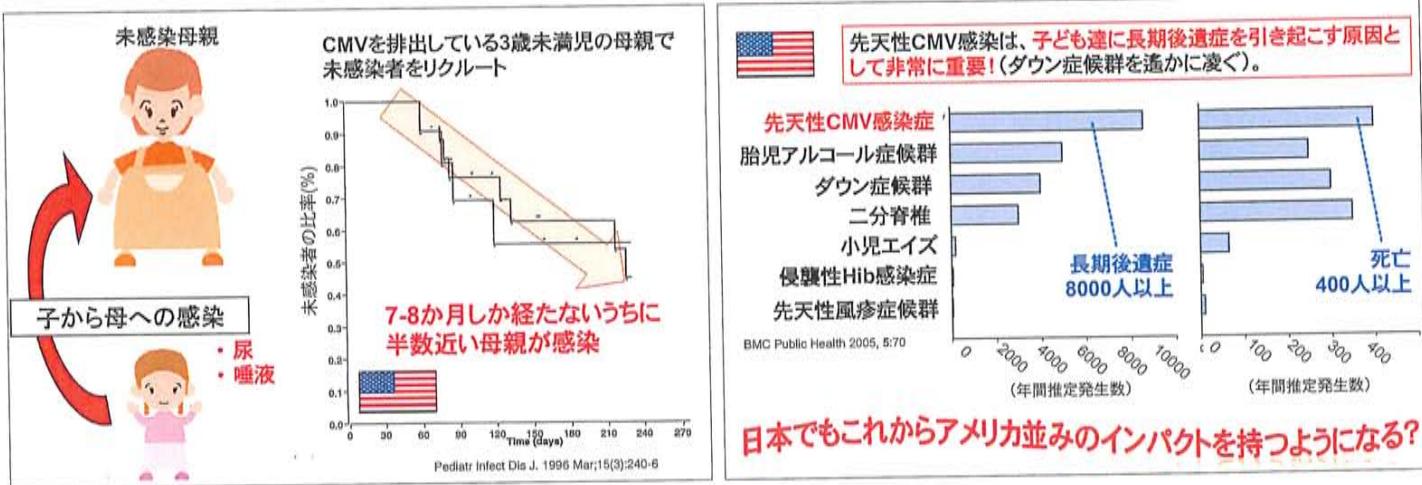
・3名の母親はそれぞれ異なる地域に居住していた。

・その当時この地域では風疹の流行は全く認められていなかった。

・モデリングにより、ベトナムでは年間3,788人(出生10万人あたり234人)の先天性風疹症候群の子どもが生まれていると推定されている。

Miyakawa et al,
Vaccine 2014; 32(10): 1192





CMV IgG抗体陽性割合は既出産回数、地域で差あり

	単位オッズ比*	95%CI	p値
年齢	1.01	1.00 - 1.02	0.12
既出産回数	1.3	1.27 - 1.52	<0.001

*Adjustedオッズ比（調節因子：年齢、既出産回数）

	割合の差(%)**	95%CI	p値
地域	-6.2%	-0.10 ~ -0.02	0.0082

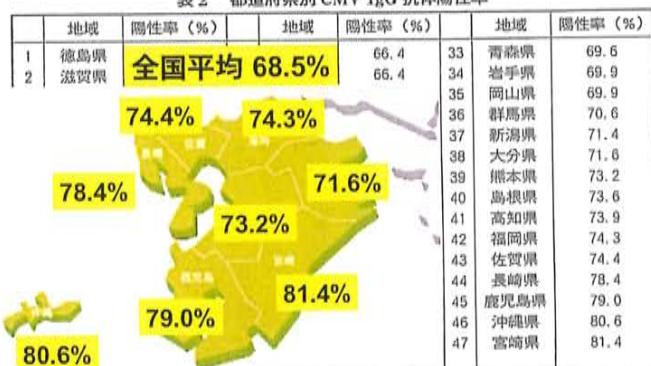
**(長崎市のCMV IgG抗体陽性割合)-(五島市のCMV IgG抗体陽性割合)

表2 都道府県別 CMV IgG 抗体陽性率 20~39歳

地域	陽性率(%)	地域	陽性率(%)	地域	陽性率(%)
1 徳島県	60.0	17 愛知県	66.4	33 青森県	69.6
2 滋賀県	60.5	18 北海道	66.4	34 岩手県	69.9
3 石川県	60.8	19 茨城県	66.8	35 岡山県	69.9
4 三重県	63.2	20 富山県	66.8	36 群馬県	70.6
5 和歌山県	63.2	21 愛媛県	67.3	37 新潟県	71.4
6 鳥取県	63.5	22 京都府	67.6	38 大分県	71.6
7 神奈川県	63.7	23 山形県	67.7	39 熊本県	73.2
8 宮城県	64.1	24 静岡県	67.7	40 島根県	73.6
9 広島県	64.6	25 山梨県	67.8	41 高知県	73.9
10 東京都	65.1	26 山口県	68.1	42 福岡県	74.3
11 千葉県	65.1	27 岐阜県	68.2	43 佐賀県	74.4
12 埼玉県	65.7	28 栃木県	68.2	44 長崎県	78.4
13 奈良県	65.8	29 福島県	68.3	45 鹿児島県	79.0
14 兵庫県	65.9	30 福井県	68.4	46 沖縄県	80.6
15 大阪府	66.1	31 香川県	68.6	47 宮崎県	81.4
16 長野県	66.2	32 秋田県	68.9		

全国から依頼されたサイトメガロウイルス抗体検査の集計結果 (1993~2014年)
飯田ら (SRL). 小児科 2015; 56(6): 847-54

表2 都道府県別 CMV IgG 抗体陽性率



全国から依頼されたサイトメガロウイルス抗体検査の集計結果 (1993~2014年)
飯田ら (SRL). 小児科 2015; 56(6): 847-54

CMV IgG in Nagasaki

年齢	2014~15年 陽性率(%)	陽性率(%)	2001~03年	
			総数	年齢
~19	76.9	87.3		
20~24	75.2	86	18~22	
25~29	75.9	89	23~27	
30~34	80.2	82	28~32	
35~39	81.7	97	33~37	
40~	80.9	100	38~42	

石橋、森内(本研究)

田川、森内(Ped Int 2004)

12年程の間にCMV抗体保有率が9%減少!

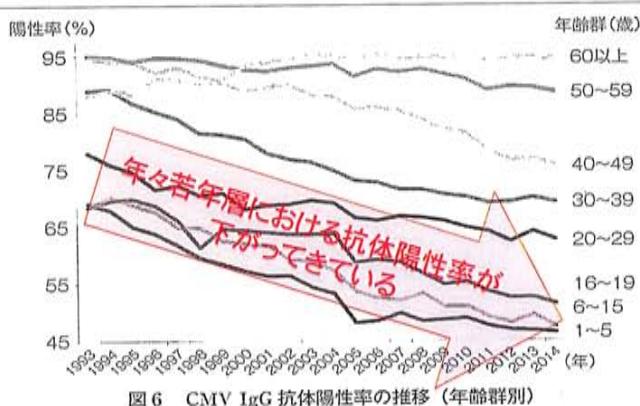
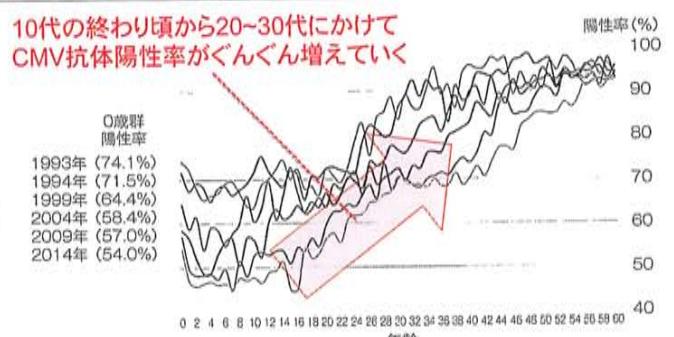


図6 CMV IgG 抗体陽性率の推移(年齢群別)



全国から依頼されたサイトメガロウイルス抗体検査の集計結果 (1993~2014年)
飯田ら (SRL). 小児科 2015; 56(6): 847-54

全新生児を対象とした先天性CMV感染スクリーニング体制の構築に向けたパイロット調査と感染児臨床像の解析～エビデンスに基づく治療指針の基盤策定～

厚生労働科学研究費補助金
(研究代表者:藤枝 憲二)

おむつに挿めた滤紙片で採取した尿検体から real-time PCR で CMV DNA を検出

検体(6都道県): 21,272件
(2008年4月 ~ 2010年9月)
陽性例は 66例(0.31%)

BMJ Open 2011;1:000118

約30%
陰性(未感染)

初感染 1-4%

妊娠前のCMV抗体

約70%
陽性(既感染)

胎内感染を起こす確率
約30-50%

再感染・再活性化
約0.2-2%

全出生あたり 0.31%

先天性CMV感染児

症候性感染(20%)

無症候性感染(80%)

乳幼児死亡
(症候性感染児の約10%)
(感染児の1-2%)

長期後遺症
(感染児の~30%)

全出生あたり 0.1%
年間推定1000人

先天性・周産期感染症の実態に関する全国アンケート調査(日本小児感染症学会)
《先天性CMV感染症》

一次アンケート調査結果



新生児マスククリーニング研究からは
全出生の約300人中1人→年間3千例以上
症候性:約1000人中1人→年間1千例以上

なぜ先天性CMV感染は見逃されているのか?

教科書に載っているみたいな重症例以外は「ピンと来ない」

- 生下時に症候性であっても非特異的な臨床像であるため、疑われない。
- 保険適用のある検査(IgM)では陽性は半分だけ
PCRに保険適用がない
- 検査が実施されても診断がつかない取り逃し例が多い。
- 遅発性に発症する症例も多いが、その時点では既に「時効」(先天性感染の証明法がない)となってしまっていた。

生後3週間以内の検体でないと先天性感染は診断できない

このような重症例しか先天性CMV感染症として捉えられていなかった



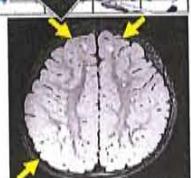
http://www.gfmr.ch/genetic_diseases_v2/gendis_detail_list.php?offset=0&cat3=349

3歳10か月女児
両側感音性難聴

看護師の母親から生まれた第1子
妊娠中も勤務していたが、体調に変化はなかった。
周産期に異常なし。BW 3080g
新生児聴覚スクリーニングで、
右 pass・左 refer
生後2か月時のASSR(右図)で、
右 80-90 dB・左 90 dB以上
補聴器を装着し言語訓練していたが、3歳
10か月時で単語のみで2語文は出ない。指示
を聞いて理解する事が困難。



発達年齢(DA)	発達指数(DQ)
姿勢・運動(P-M)	97
認知・適応(C-A)	72
言語・社会(L-S)	37
全領域	59



3歳10か月女児 両側感音性難聴

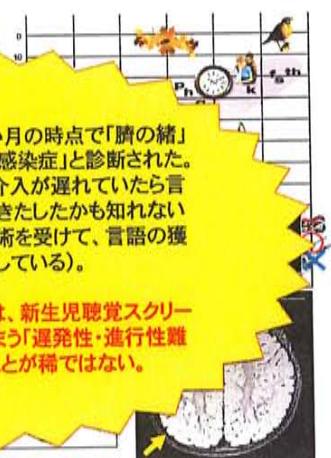
看護師の母親から生まれた
妊娠中も勤務していました。

この症例では、3歳10か月の時点で「臍の縫」を用いて「先天性CMV感染症」と診断された。難聴は進行性であり、介入が遅れていれば言語獲得に著しい支障をきたしたかも知れない（その後人工内耳埋込術を受けて、言語の獲得が加速している）。

先天性CMV感染症では、新生児聴覚スクリーニングを潜り抜けてしまう「遅発性・進行性難聴」が合併することが稀ではない。

姿勢・
認知・適応
言語・社会(L-S)
全領域

2歳4か月



2歳6か月男児 両側感音性難聴

病院受付勤務の母親から生まれた第1子
妊娠中に著変はなかった。

在胎40週で自然分娩。出生体重2465gで
無症候性低血糖があつたため、NICU入院。

軽度の血小板減少と淡い紫斑があつたが、
すぐに消退した。新生児聴覚スクリーニング
は両側passで、全身状態良好。すぐ退院。

その後、運動発達に全く問題はなかったが、周囲の音への反応が乏しいことを気にしていた
(しかし聴力は大丈夫のはずだからと信じていた)。

1歳半健診時に両側高度難聴が疑われ、耳鼻咽喉科でのASSR(右図)で、
両側とも殆ど反応性がなかった。



2歳半になって人工内耳埋込術を受けるため耳鼻咽喉科入院した際に、小児科へ術前診察依頼。病歴から先天性CMV感染症を疑い、臍の縫を持参してもらい、「先天性CMV感染症」の診断に至った。



この子は小さく生まれてきたし、生まれた時
には皮膚に出血斑がありました。インターネットで調べてみたら、先天性サイトメガロ
ウイルス感染によくある症状じゃないですか。

生まれつきの難聴って、新生児のスクリーニングでわかるはずなので
しょう?あの病院の診察や検査は穴だらけもいいところだ!訴えてやる!

サイトメガロウイルスによる難聴はしばしば遅発性・進行性

クレームが来たからカルテを読み返してみたが、全く記憶に
残っていない。低出生体重だった、2500グラムをちょっと
切っただけでしょう? そんな子の軽度の血小板減少だとか
淡い紫斑だとか、よくあることじゃない....そんなのが先天性
感染の症状なの? え? 難聴って進行性なの? スクリーニング
でわからないことがあるの?



自閉傾向にある3歳男児

遊び方にひどい偏りがあり、特定のアニメのキャラクターに異常な執着がある。彼のお決まりの遊びや行動を邪魔されたり、自分の要求が通らないと、激怒する。他の子ども達はおろか、両親とも殆ど関わりを持つことができない...そんな訴えで受診してきた。



周産期には大きな異常はなかったが、身長 -2.0SD、体重 -1.3SD、頭囲 -1.8SDとやや小さめに生まれた。

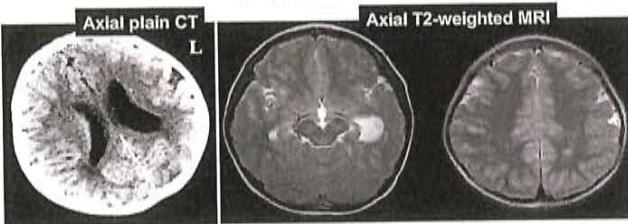
一人歩きが24か月と運動発達はやや遅れ、有意語が18か月・二語文が40か月と言語発達も遅れ気味だった。

乳児期に殆どあやし笑いしたり目を合わせることなく、呼びかけられても滅多に反応しなかつたが、聴力スクリーニングでは問題なかった。

自閉症スペクトラム Autism Spectrum Disorders

3歳11か月になって無熱性痙攣を起こした。そこで始めて撮影された頭部CTで、両側脳室拡大と脳室周囲石灰化が認められ、続いて撮影した頭部MRIでは左側頭葉中心部の厚脳回症および滑脳症と左皮質下白質領域の多発性高濃度病変を認めた。ABRでは左感音性難聴が明らかになった。

参考)自閉症は26-40%にてんかんを合併する。



この時点では先天性CMV感染症を疑い、乾燥保存臍帯を送付してもらいたい、「先天性CMV感染症」の診断に至った。

Pediatr Int 2010;52:304

21歳女性

発達遅滞、脳性麻痺、てんかん、感音性難聴

【妊娠・分娩歴】

妊娠初期に母親が軽い感冒症状。それ以外は特記事項なし。

37週に自然分娩で出生。仮死なし。BW 2244gとSFDであったが、診察上著変なく、血球数や肝機能にも異常なく黄疸も軽度で、問題なく日齢16で退院。

【その後の経過】

生後3か月: 筋緊張低下と体重増加不良を指摘。頭部CTで軽度の脳室拡大。

1歳0か月: 頸定ほぼ安定。

1歳2か月: ABRにより両側高度感音性難聴と診断。補聴器装着の上、言語・聴能訓練開始。

1歳8か月: てんかん発症。頭部MRIで左前頭部に皮質形成異常。

4歳1か月: 独歩開始。右片麻痺あり。

7歳3か月: DQ 25

9歳11か月: 全脳染色切除術。これ以降は怠薬ない限り発作はほぼ制御。

醫学校(中等・高等部)卒業し、21歳の現在は家庭で過ごしている。日常生活は大きなトラブルなく過ごせている。保存臍帯により、先天性CMV感染と診断。

21歳女性
発達遅滞

【妊娠・分娩】
この症例では、21歳になってはじめて「臍の緒」を用いて「先天性CMV感染症」と診断された。出生時には「子宮内発育遅延」しかなく、新生児医も特に注目してはいなかった。しかし、その後のフォローで「重度の精神運動発達遅滞」「脳性麻痺(片麻痺)」「難治性てんかん」「両側高度感音性難聴」と様々な重度の障害を持つに至った。

4歳
7歳
9歳11か月
聴
【発達】
聴学校(中等・高)
ラブルなく過ごせている

「特発性(原因不明の)○○○」の中に先天性CMV感染症は?

【発達】
聴学校(中等・高)
ラブルなく過ごせている

臍帯とガスリー試験紙を用いた先天性CMV感染症の後方視的診断

- 先天代謝異常スクリーニング
- ニンジン
- 紙血
- 水頭症
- 小頭症
- 出血斑
- 肝脾腫
- 子宮内発育遅延

原因不明の様々な障がいが、先天性CMV感染によって起こっていることが判明してきた。

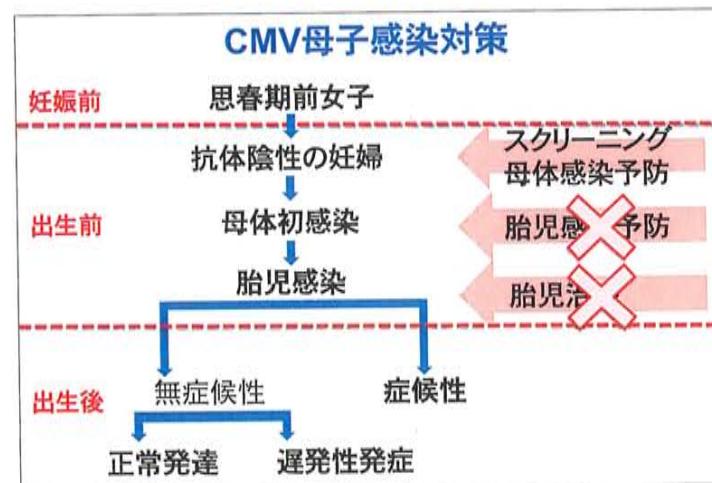
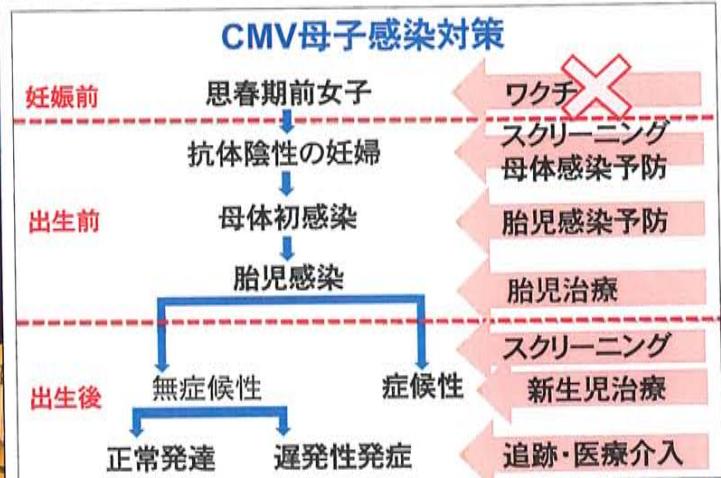
長崎県立自閉症センターなど
自閉症児 27名中2名 (7.4%)

J Pediatr
2009;155:749

長崎県立聴学校
原因不明の高度難聴児
26名中3名 (12%)

Brain Dev
2015;37:200

長崎県下の病院
原因不明の水頭症児
19名中2名 (11%)



産婦人科診療ガイドラインー産科編 2011(日本産婦人科学会)

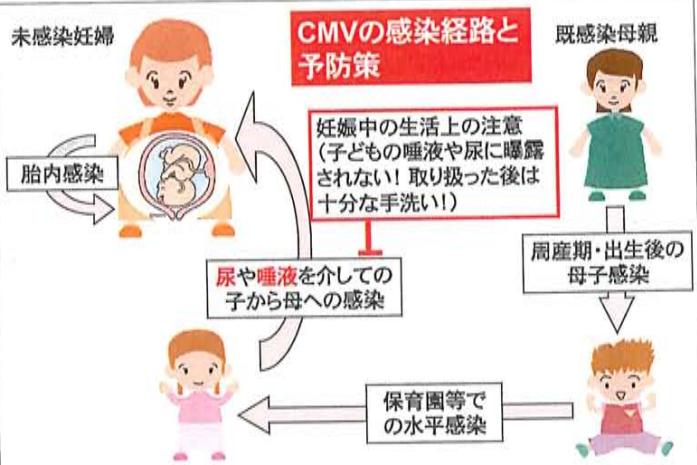
CQ609. サイトメガロウイルス(CMV)感染について?

Answer

- 児予後改善のための母体CMV抗体スクリーニング検査の有用性は確立されていないと認識する。(C)
- 略
- 母体CMV抗体検査を行った場合の解釈については以下を参考にする。(B)
 - 妊娠初期母体CMV IgG陰性であったものが、妊娠中にIgG陽性になった場合、妊娠中初感染と判断する。
 - 妊娠初期母体CMV IgG陽性(妊娠以前の感染)でも母子感染は起こりうるが、その頻度と胎児への影響は初感染に比し少ない。
 - 母体CMV IgM陽性の場合、最近の感染を疑うがIgM陽性が長期間持続する現象が知られているので注意する。
- 「胎児治療については現時点で確立されたものはない」と説明する。(B)
- 略
- 略
- 胎内感染児については聴覚の長期フォローアップを専門医に依頼する。(B)

「産婦人科診療ガイドラインー産科編」で、CMVスクリーニングがnegativeに捉えられている理由

- ・有効な胎児治療法が確立されていない。
- ・ワクチンがない。
- ・児障害程度の予測が困難。
- ・感染児の90%が無症候性であり治療適応が定まっていない。
↓↑
- ・スクリーニングの目的は「胎児治療」だけではない。
- ・ワクチンがなければ予防できないと考えるのは短絡的。スクリーニングによって妊婦の啓発・指導の有効性が増し、感染予防に繋げることができる。
- ・最近の本邦の前方視的研究によると、感染児の予後はもっと悪い(出生時に約20%が症候性、約10%が遅発性発症)。
- ・症候性児の抗ウイルス療法は予後を改善させる。無症候性児の長期フォローは早期介入に繋げられる。



感受性妊婦の生活上の注意点

- ・おむつを替えた後、子どもに食事をさせた後、子どもの涎や鼻汁を拭いた後、または子どものおもちゃを扱った後にはよく手洗いをする。
- ・子どもと飲食物や食器を共有しない。
- ・子どものおしゃぶりをくわえない。
- ・子どもと歯ブラシを共有しない。
- ・子どもとタオルを共有しない。
- ・子どもにキスする際には唾液に触れない。
- ・子どもの尿や唾液で汚染されたものや処はきれいにする。



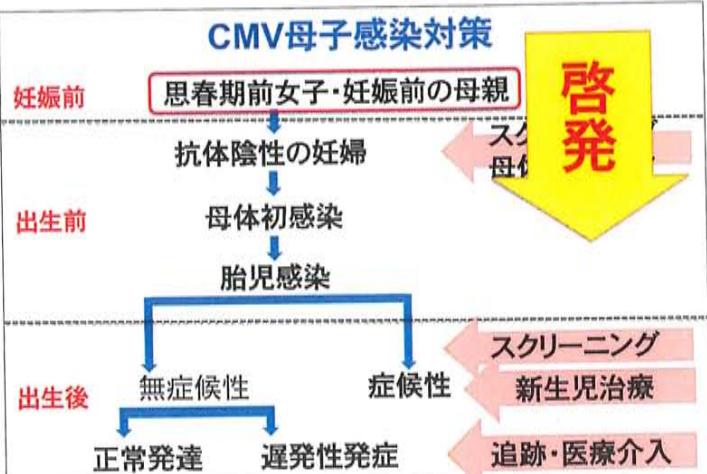
難しいことではないけれど、実際にできる??

妊娠中に感染しないために

AMED: 母子感染の実態把握及び検査・治療に関する研究班(藤井班)

1. 頻繁に石けんと水道水で15～20秒間、手を洗いましょう。特に、おむつ交換、お子さんの食事、鼻水やよだれの処理、オモチャを触った後は念入りに手洗いしましょう。
2. お子さんの唾液やおしっこがついてしまったオモチャや家具等は、きれいに拭き取りましょう。サイトメガロウイルスは石けん、アルコール、漂白剤などに弱いので、手洗いや掃除の際は、水だけではなく、こうしたものが入った、薬局で売っている消毒薬を使うと効果的です。
3. よだれのついたお子さんの手やオモチャが口の中に入らないようにしましょう。
4. 食べ物、飲み物はお子さんとは別にし、同じ箸やスプーンやフォークも使わないようになります。
5. お子さんにキスをするときは頬や唇へのキスはやめましょう。
そのかわりおでこにキスしたり、抱きしめてあげたりしましょう。
6. サイトメガロウイルスは乾燥に弱いので、敷物や布団類は天日で十分に乾燥させましょう。
7. 保育所などお子さん方と接する機会の多い職場で働いている場合は、職場でも①～⑥の感染予防法を実践しましょう。

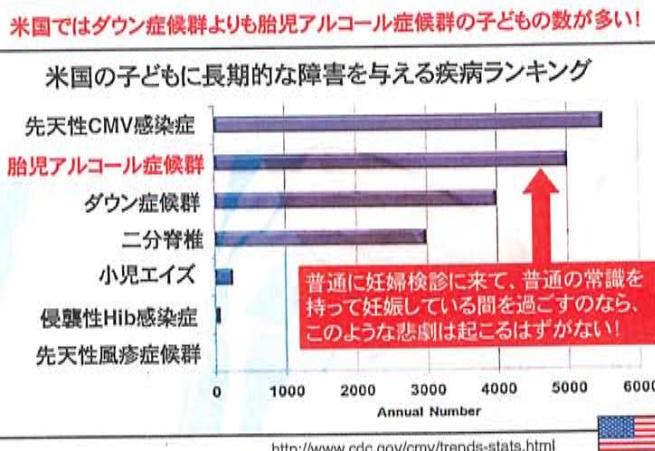
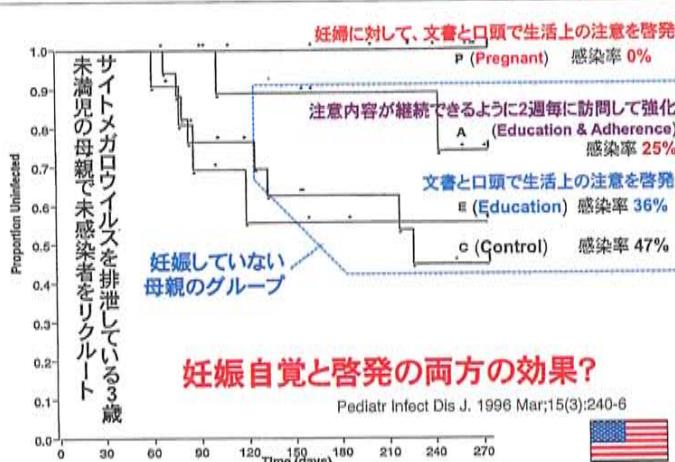
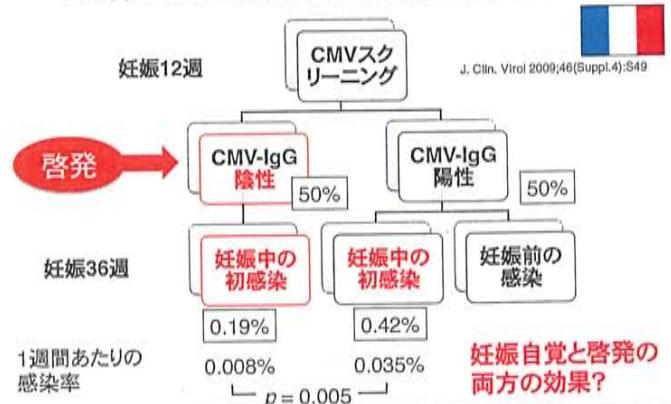
http://cmvtoxo.umin.jp/public_02.html



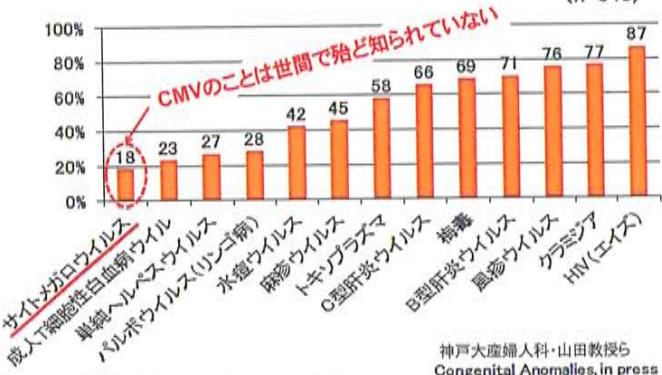
小さい子どもを持った妊娠中のお母さん



生活上の注意の啓発は効果あるか?



妊婦の先天性感染の知識調査: 胎児に影響を及ぼす感染症として知っていますか? (n=343)

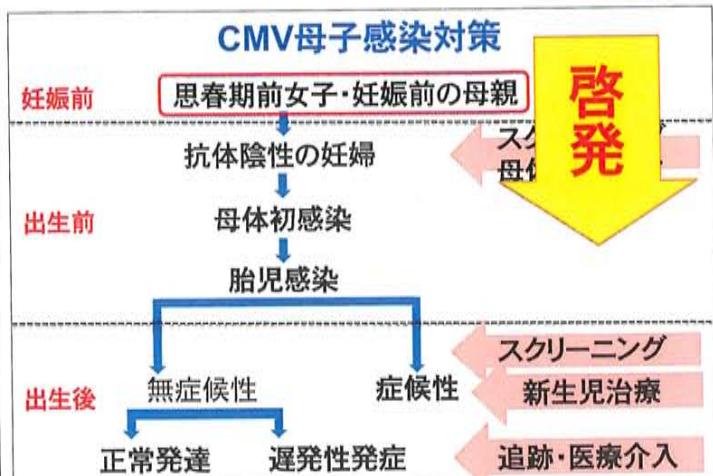
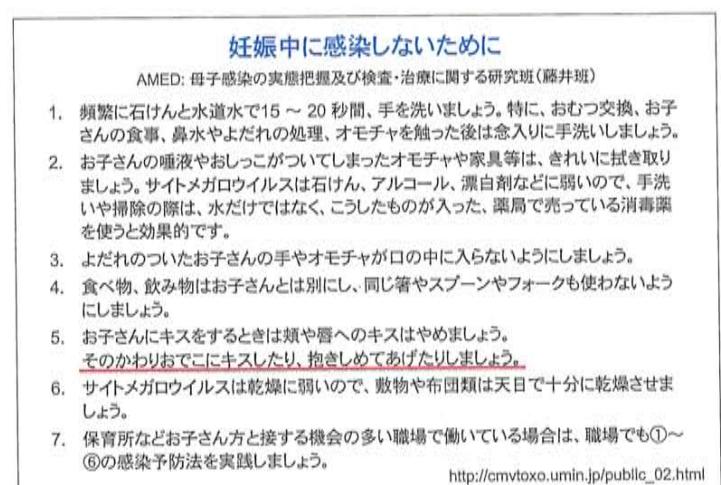


産婦人科診療ガイドライン・産科編 2014(日本産婦人科学会)

CQ609. サイトメガロウイルス(CMV)感染ハイリスク妊娠については?

Answer

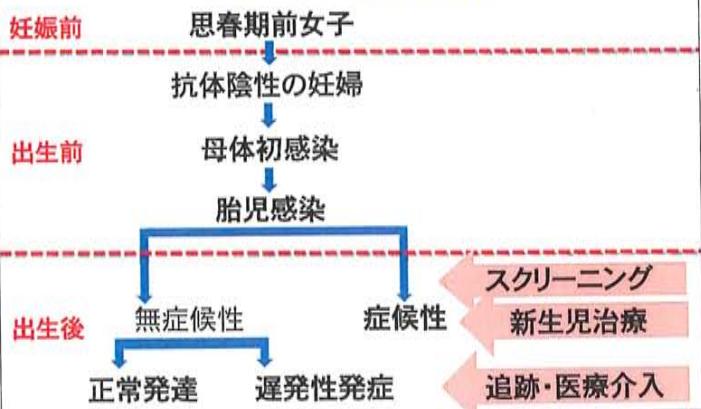
1. CMV IgG陰性が確認された場合、妊娠中初感染ハイリスク群と認識する。(B)
2. 妊娠中初感染ハイリスク群に対しては、感染予防法等について説明する。(C)
3. 母体CMV抗体検査を行った場合の解釈については以下を参考にする。(B)
 - 1) 妊娠初期母体CMV IgG陰性であったものが、妊娠中にIgG陽性になった場合、妊娠中初感染と判断する。
 - 2) 妊娠初期母体CMV IgG陽性(妊娠以前の感染)でも母子感染は起こりうるが、その頻度と胎児への影響は初感染に比し少ない。
 - 3) 母体CMV IgM陽性の場合、最近の感染を疑うがIgM陽性が長期間持続する現象が知られているので注意する。
4. 「胎児治療については現時点で確立されたものはない」と説明する。(B)
5. 略
6. 略
7. 胎内感染児については聴覚の長期フォローアップを専門医に依頼する。(B)



小さい子どもを持つ妊娠中のお母さん



CMV母子感染対策



先天性CMV感染症は決して稀ではないのに、新生児マスクリーニングの対象にしてもらえていない

疾患名	報告数 (推定数)
T: 先天性トキソプラズマ症	5~6例/年 (数百例/年)
Others: 先天梅毒	8~9
R: 先天性風疹症候群	0~1
C: 先天性CMV感染症	50 (1,000)
H: 新生児ヘルペス	12~13

↓
年間報告数と推定数に大きなギャップがある!

その数は新生児マスクリーニング対象疾患より多く、ダウン症に匹敵!

症候性感染児への抗ウイルス療法

目的:

- 長期予後(聴力、発達など)の改善
- 活動性病変(網膜炎、肝障害、血小板減少など)の鎮静化

対象:

- 症候性感染児(新生児期に顕性)
- 上記のうち、中枢神経系症候のある児のみ?
- 将来の遅発性発症のハイリスク児??

治療薬:

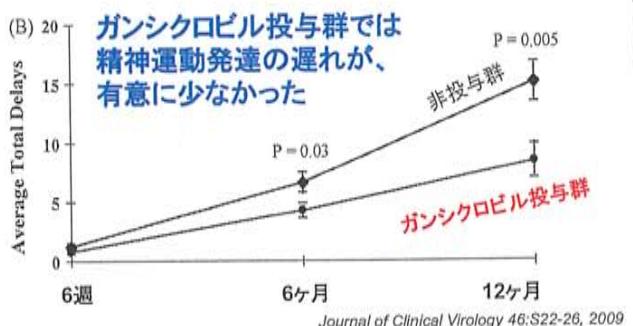
- バルガニシクロビル(経口薬) 6か月
(経口投与が困難な場合はガニシクロビル点滴静注で開始するが、できるだけ早く経口投与に切り替える)

症候性先天性CMV感染新生児への ガニシクロビル点滴静注治療は聴力的予後を改善する

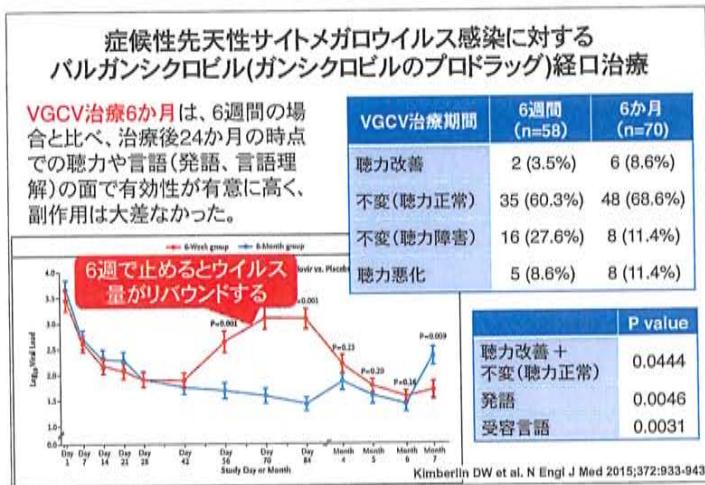
Kimberlin et al., J. Pediatr. 2003;143:16-25

	(a+b+c) vs (d): p = 0.002 (a+b) vs (c+d): p = 0.133	ガニシクロビル 投与群(24例)	非投与群 (19例)
a 改善		4 (17%)	0 (0%)
b 不変(聴力は正常のまま)		8 (33%)	5 (26%)
c 不変(聴力障害のレベルが同程度)		7 (29%)	1 (5%)
d 増悪		5 (21%)	13 (68%)

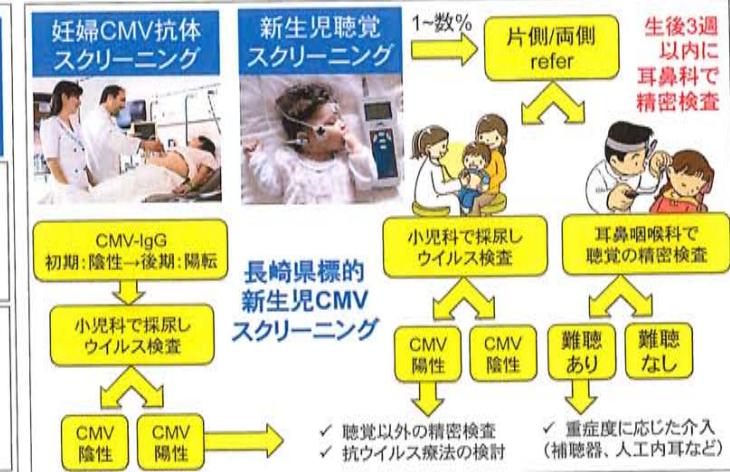
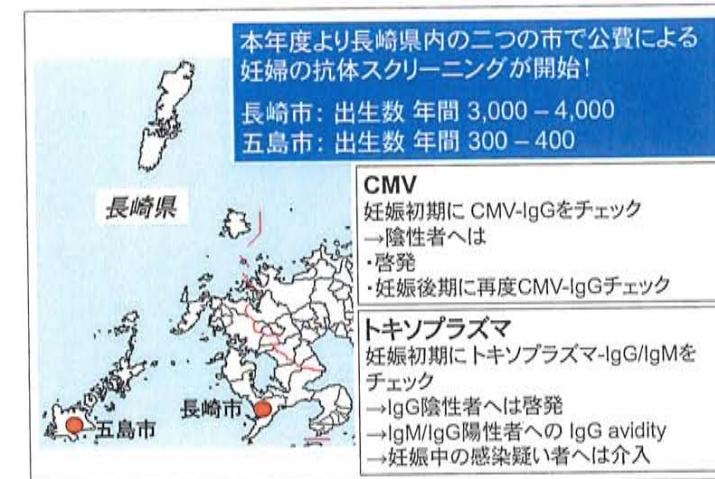
先天性CMV感染に伴う難聴はしばしば遅発性・進行性



ガニシクロビル投与群では聴力も精神運動発達も改善されていた!



- 【出生前の介入:その問題点】**
- ワクチンは未開発(まだ全く目処が立たない)。藤井班で対応中
 - 妊娠中の生活上の注意で、ある程度の予防効果が期待できるが、実効性を持たせるには自分に感受性があるかどうかわからないと無理(妊婦スクリーニングが必要!?)。
 - 妊婦の初感染の診断には IgG avidity 検査が必要だが、保険未適用。
 - 胎内治療の試みは成功していない。
 - 予防措置を取るためには、妊婦さらには一般市民への啓発が不可欠。そのためには、産科医や小児科医だけではなく、**全ての医療従事者が正しく十分な知識を持って、指導していく必要がある!**
- 【出生後の介入:その問題点】**
- 抗ウイルス薬による治療は感染児の予後を改善させるが、**保険適用はない**。
 - 保険適用のある診断方法(CMV-IgM)では見逃し例が多いが、高感度の PCR には保険適用がない。
 - 非典型例は見逃しが多い(新生児スクリーニングが必要?)。

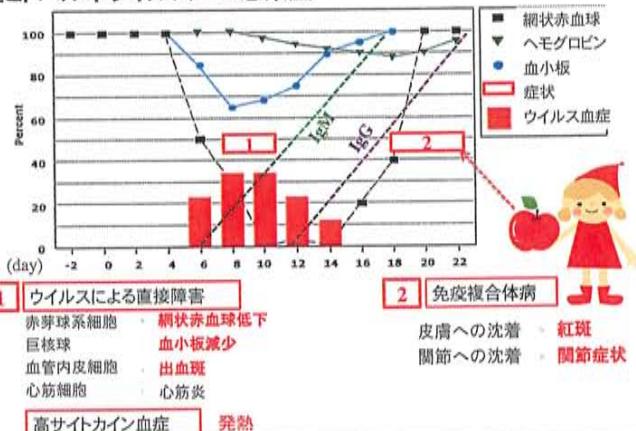


伝染性紅斑(りんご病)

- 病原体:ヒトパルボウイルスB19。
- 臨床像:頬部紅斑(slapped cheek)と四肢のもやもやしたレース状紅斑が特徴。
- 重要な合併症:溶血性貧血患者における **aplastic crisis**。免疫不全患者における造血障害。胎内感染における重症貧血(胎児水腫)。
- 特徴的な皮疹が出現する頃には感染性がなくなっている。ただし、aplastic crisis の溶血性貧血患者や造血障害の免疫不全患者の場合は、感染性ありと考えて対処する。



急性ヒトパルボウイルスB19感染症



ヒトパルボウイルスB19



まとめ

- 先天性感染の被害は一生涯に及びます(本人や家族の負担、社会経済的損失は非常に大きい)。
- トキソプラズマやCMVの先天性感染の被害は、先天性風疹症候群を遙かに上回ります(合わせるとダウン症候群のような染色体異常に匹敵します)。
- 啓発をきちんと行うだけでも予防効果が期待できます(妊婦への常識として、アルコールやタバコや放射線やお薬への注意だけではなく、食生活や子どもとの接し方なども加える)。
- 啓発は産科医療の現場だけではなく、小児医療の現場でも、その他様々な場面で繰り返し行うことで効果が上がります。

妊婦さんに

- レントゲン写真
- ある種の薬物
- タバコ
- アルコール

を避けるよう指導しない
医師・保健師・助産師・看護師は
いませんよね?



そして、妊婦さんに

「母子感染」を予防するための指導を
しない 医師・保健師・助産師・看護師
なんて、もういませんよね?
どうすれば予防できるのか、
もう ご存知ですね?

